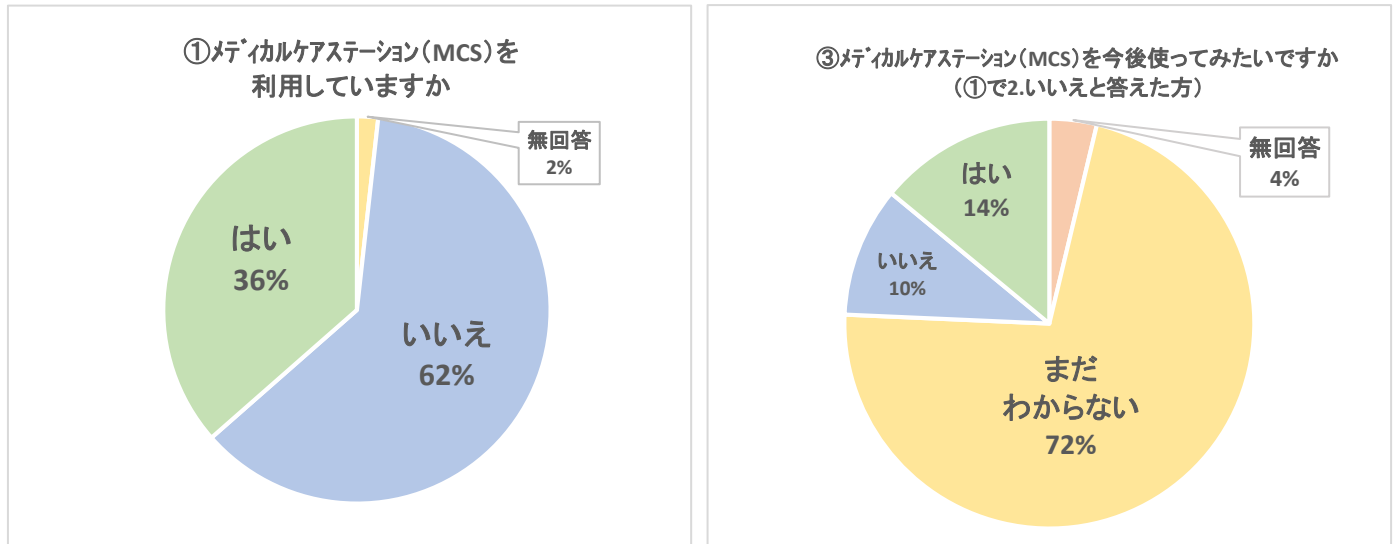


事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)



②利用していない理由

- ・介護従事者がいないため。
- ・MCSの存在を知らなかった。(13件)
- ・今のところ、特に必要としていない。(11件)
- ・小児科なので。
- ・町のサービスで今の所支障がないため。
- ・介護サービスについて、ケアマネジャーの方におまかせしています。
- ・利用方法がわからない。
- ・具体的な業務内容など、わからないため。
- ・詳細を知らないため。
- ・現状、受診された方のみ対応しており、往診等には手がまわらないため。将来的には検討すべき時が来るかもしれない。
- ・介護施設との連携や、訪看との連携とメインで行っていないため。
- ・特別な理由はありません。(2件)
- ・通常業務ではMCSを利用することが難しい。
- ・どのようなものかわかってない。(4件)
- ・当院から在宅への退院がほとんどないため。
- ・情報をもっていなかった。
- ・MCSについて理解できていない。
- ・登録はすませたが、薬局内での手順書、約束事がまだ作成出来ていない為利用に至っていない。
- ・在宅介護、居宅介護をしている患者さんが現在いない。
- ・メディカルケアステーションの実態を知らないため。
- ・特にはないですが、機会があれば利用させていただきます。
- ・名前を聞いたことがある程度で、詳しい内容等を知らない。
- ・現在、在宅関連の業務に携わっていないため。

事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)

②利用していない理由

- ・一人のため、在宅に行動出来る時間がない。時間がとれればやっていきたい。
- ・MCSを利用する機会がなかったが、在宅等の業務を問題なく行えている。そもそもMCSというものの内容を理解できない。
- ・少数精鋭の薬局にて、他の仕事に余裕もなく、MCSに余り関わる事もなく事業をしてまいりました。
- ・会社のルールにより。
- ・町の情報セキュリティポリシーに準じての対応。情報の閲覧は可としており、発信時は課長確認が必要としている。また、要支援者の対象者が少ない(現時点1名)。
- ・インターネット上で個人情報を含む情報の提供をすることに制限があり難しい。MCSを活用するデバイスの確保が難しい。
- ・情報セキュリティポリシー(基本方針)において、インターネット上での個人情報データの送受信に対応できていない。自治間など、ローカルネットワーク以外、情報のやりとりができない。
- ・対象となる患者さんが特定されていない。
- ・電話、FAXで対応可能なため。
- ・詳細不明で、院内で必要性の認識ないため。
- ・月曜日～金曜日8:30～17:15の時間帯に、電話又はFAX対応を行っているため。
- ・利用されている医療機関との繋がりががないため、又、ご利用もないため必要性を感じていない。
- ・環境が整っていない。(3件)
- ・現在通信機器が揃っていないため。
- ・検討中。(2件)
- ・電話による多職種や、ご家族への連絡をしていましたが、今後はMCSを利用したいとケアマネ全員で話しをしていました。
- ・利用する状況がない為(困り事がない)。設備がない。
- ・医療機関や事業所とは直接やり取りし、連携を図れているため、これまでMCSを利用する必要性が特になかったため。
- ・準備が整っていない為。
- ・まわりで利用している人がいないため。
- ・体制は整えているが、医師や看護からのお話はない。
- ・一部機能が有料なので他事業所に頼み難い。本社より使用の指示や希望がない為。
- ・今回初めて知りました。(2件)
- ・利用されていた利用者様の情報共有として使わせて頂いたが、利用中止となり使わなくなった。
- ・専門性の違いがある。介護施設では主に日常生活の支援や介護を中心としたサービスが提供される為、利用する機会が少ない。医療的な処置や診療が必要な場合は、利用することも必要と感じる。
- ・日常業務に追われ、時間が無い。
- ・非公開型で知らなかった。このようなアンケートが過去にあったかもしれないが、認識が不十分であった。また、特に必要とする場面がなかったので、気にしていなかった。
- ・初めて聞きます。

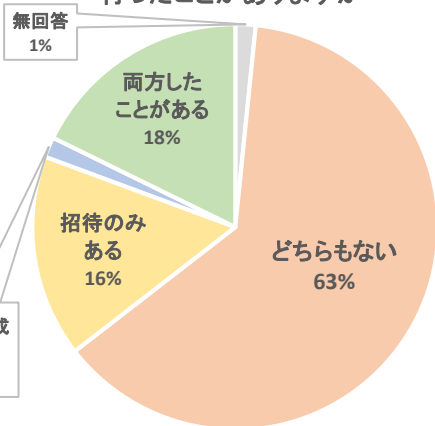
事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)

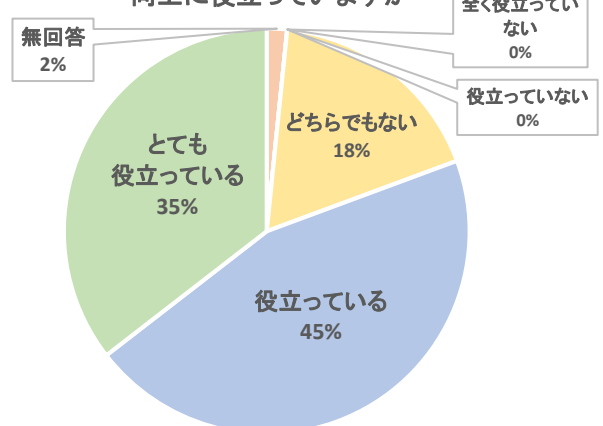
②利用していない理由

- ・全事業所で使用する事で利用価値があると思いますので、決定すれば使用したいと思います。
- ・利用予定でしたが、利用前にご利用者の通所サービス利用が終了したため。
- ・主な支援が障害福祉サービスの生活介護のため。
- ・まだよく学習していない。多職種の連携は大切だと思っている。(2件)
- ・小規模事業所の為、必要性を考えている。
- ・MCSについての理解、知識不足。
- ・使い方がわからない。パスワードを忘れてしまった。(不具合が生じている)

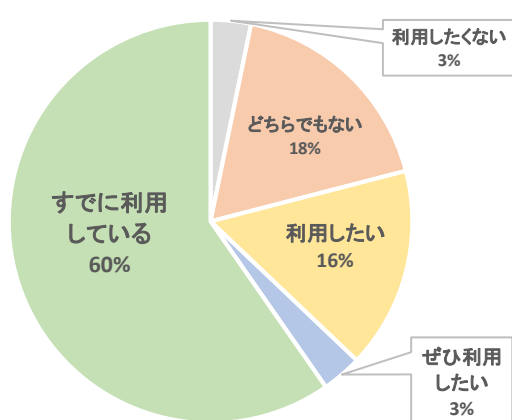
④患者グループ作成やグループへの関係者招待を行ったことがありますか



⑤MCSを利用することで業務効率の向上に役立っていますか



⑥通常業務でMCSを利用する際にモバイル端末(スマホ・タブレット等)で利用したいと思いますか



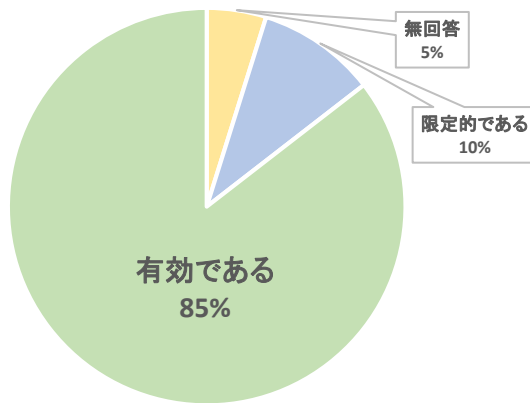
⑦MCSを利用して情報共有している患者(利用者)数について

	0～10人	11～20人	21～30人
現在の人数	49	2	3
最大時の人数	44	0	4

事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)

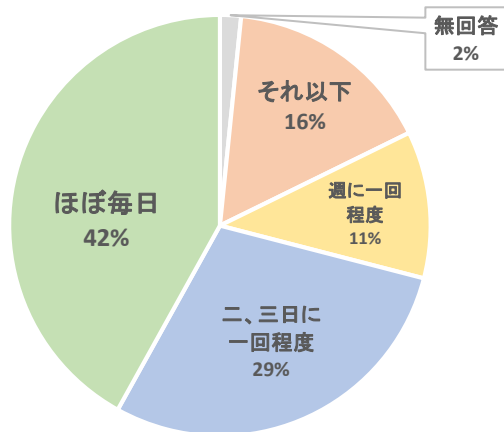
⑧MCSを利用する事で多忙な職種との連携
(連絡や情報提供など)が行いやすくなると
言われていますが、使ってみて実際のいかがですか



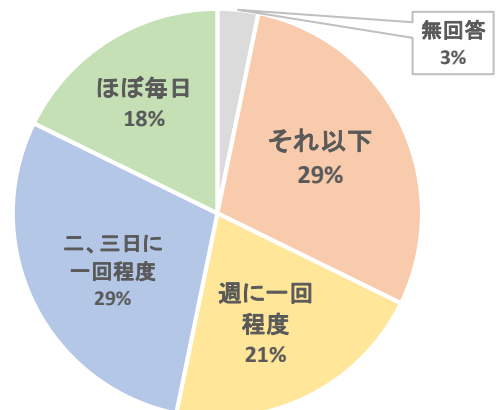
⑧限定的である理由

- ・毎日の報告で時間を要す。月1回or週1回、体調不良時等の運用が理想と感じています。
- ・文章で伝わらない事もあり、電話している。
- ・事業所の事情で全員参加ではないため、電話連絡が必要。
- ・今のところ医療機関のみなので、今後どうだろうか。
- ・事業所により参加していない事業所があるため、連携が完全ではない。

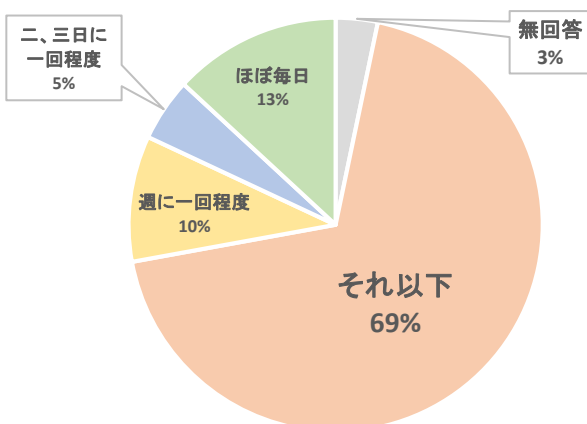
⑨アクセス頻度(直近1週間において)



⑩情報交換を行った頻度(直近1週間において)



⑪夜間(時間外)、休日の使用について(頻度)



事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)

⑫MCSを利用して多職種との連携を行うことについて良い点

- ・時間外に確認等ができる。情報共有が容易。
- ・訪問していない日の状態や服薬状況がリアルタイムでわかること。時間を気にせずに問い合わせができる事。
- ・患者さんの状況から多職種の方々からの観点でわかること。
- ・まだ患者情報の共有をした事はありません。
- ・常に患者さんの状態が把握できる。特に診察時の状況が分かることが良い。
- ・それぞれの職種の方が都合のいい時間に情報共有できる。訪問看護師の記録も見れる。
- ・患者さんの状態を把握しやすい。
- ・リアルタイムで多職種と患者との関わりや情報を知ることができる。何か分からないことがあれば、その場で質問できる。
- ・グループ全体で情報の共有がしやすい。
- ・同時に連絡が出来る。今、何が起きているのかが分かる。
- ・リアルタイムの患者様の状態が知れる。
- ・情報を電話などすぐの対応でなく、各部署のタイミングで確認できる。
- ・他の職種の方の意見交換の様子がわかってよかった。患者様の様子がよくわかった。
- ・情報共有が早い。会わないケアマネなどから情報をもらえる。休日でもDrと連絡がとれる。TELLしなくても良い。写真が送れる。
- ・他サービスの情報が得られる。
- ・TELを毎回しなくて良い。画像共有できる。情報のやり取りが見返せる。
- ・状況を他の職種の方も共有できる。薬の情報などわかりやすかった。
- ・多くの情報が多職種と共有できる。訪問中にリアルタイムに写真や記録が送れ、Drからの指示受けもスムーズにできる。
- ・訪問回数が少ない利用者さんの状況が良くわかる事がある。医師への報告が、気を使わずにできる。
- ・電話せず情報を報告できること。過去のやり取りを見ることで、日頃訪問していない方の情報を得ることができる。
- ・情報共有することで、迅速な対応(処置、薬の変更等)ができる。
- ・情報を共有できる。
- ・情報共有ができる。
- ・お互いの情報共有が出来、連携しやすい。
- ・先生が外来中で連絡がとりにく時に、MCSが便利。
- ・伝達が共有できる。
- ・その場で情報提供できる。
- ・情報共有がすぐにできる。
- ・情報を早めに伝達ができ共有できる。
- ・利用している所では情報共有しやすい。
- ・情報が共有できる。時間の節約ができる。ささいな事でも連絡できる。
- ・急ぎでない情報共有に関してはMCSは有効。
- ・利用者様の状態を各事業所と共有して連携ができる。Drとの連携がとりやすい。
- ・自分のタイミングで情報が知れて入力もできる。
- ・医療従事者との連携ができる。
- ・Drとの連携は行いやすくて良いと思う。

事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)

⑫MCSを利用して多職種との連携を行うことについて良い点

- ・タイムリーで情報を知ることができる。
- ・普段忙しいDrもやりとりができる。
- ・連携を気軽に取りやすくなりました。
- ・その方の状況がとても分かる。
- ・医療での患部の写真等が送られてきて良い。
- ・早期に情報共有できる。指示を確認できる。
- ・こちらのタイミングで情報共有ができる。写真など共有できるので目でみて確認できる。
- ・多職種間との情報共有がスムーズにでき、連携が図りやすい。写真などの情報も共有できるので、状態が把握しやすい。
- ・タイムリーに連携できる。忙しい方々と気負わずに連携できる。
- ・伝えたい事を一度で多くの事業所に伝える事ができる。
- ・その日の利用者の様子を一度に関係事業所に伝える事ができる点。又、知る事ができる点。一ヶ所ずつにTelしなくて良いことは便利だと感じている。
- ・他事業所への連絡が確実となり、本人の状態安定している。医療連携がスムーズとなり、聞きたいことなどがしっかり返答がある。
- ・多忙な多職種からの意見聴取がスムーズに行うことができるようになった。メール機能なので、こちらの都合でアクセスできるので助かっている。グループでは、タイムリーな情報が入るので有効的。
- ・急がない情報提供は一度で共有できるのが良い。
- ・情報の共有が容易であり、特に主治医への報告と指示受けに助かっている。
- ・ご利用者様の状態の経過が把握できる。意見交換やアドバイスが頂ける。
- ・当事業所以外での様子が分かり、家族も連携していれば、都度報告が不要、MCS1度で済む。
- ・オンライン診療ができる。
- ・画像も載せることができ、症状が伝えやすい。
- ・病状など、今までは利用者様からの情報のみということが多かったですが、MCSを利用することで、現状を正確に把握することができるようになっていきます。
- ・主治医、薬剤師、訪看との情報共有に大変役立っている。

⑫MCSを利用して多職種との連携を行うことについて悪い点

- ・毎日のチェックが必要。即時性がない。
- ・今までに数名しか参加していませんので、悪い点はわかりません。
- ・ほぼ毎日通知が来るので、緊急時の連絡含め、神経を使う。
- ・急ぎの問い合わせには向かない時がある。
- ・アカウントを施設名で作ればいいのか。個人名で作ればいいのか迷う。
- ・ログインが面倒。
- ・急ぎの内容の際に対応が遅れる。
- ・個人ケータイなので、いつも見てしばれる。
- ・デイサービス、デイケアとの関係が、まだ取れていない。

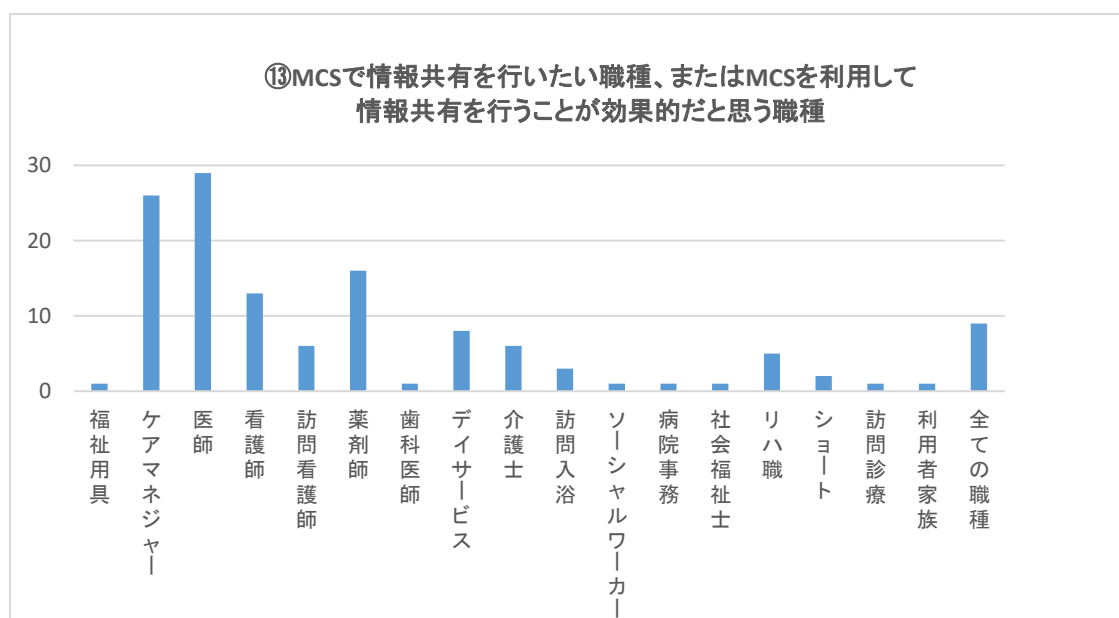
事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)

⑫MCSを利用して多職種との連携を行うことについて悪い点

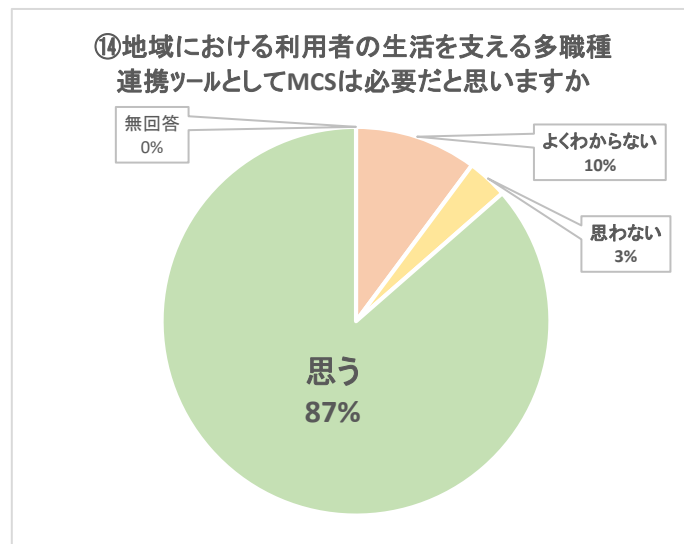
- ・必要事項のみのやりとりで良いと思う。返信が細かいと煩雑になるのでは…。
- ・記録が必要なので、作業が多くなる。
- ・急ぎの報告はするが、MCSにも残しておくことがいいかと思い記録を残すが、二度手間になる点、忙しい時後回しにしている点。
- ・緊急の場合は、TELが良い。
- ・読んでほしい人が見たか不安。
- ・全て(変化しない部分)の情報提供を行うべきか考える。
- ・しばしば入力に時間がかかる。(相手とのやりとりに文章では伝わりにくい面がある)
- ・利用していない所もある。
- ・ログインが少し面倒。
- ・連絡したい職種が全員MCSに入っていれば良いが、入っていなければ、それぞれに連絡をしなければならない。
- ・情報の漏洩が心配。
- ・同じ内容のコメントが記入されていること。
- ・本人、家族の思いや考えが伝わりにくい。
- ・事業所によってはMCSを利用できないため、情報を中断する必要がある。
- ・伝えたい事がうまくまとまらず、文章が長くなってしまうことがあり、申し訳ない時がある。アプリ、スマホに使い慣れていないCMが、慣れるまで時間がかかる。
- ・多くの事業所が登録していても「いいね」ボタンを押している人が限られており、全員が見ているのか分からない点。
- ・業務都合により、なかなかすぐに返答出来ない。
- ・タイムリーな共有が必要な時は、結局電話を用いる。又、確認をもらったかを何度も確認する必要がある。
- ・1人の利用者に対しても、携わる全事業所が参加出来ないと、連携していても報告などが二重になり、手間がかかる。
- ・訪問看護や薬局の方の専門用語が分からない事がある。

⑬MCSで情報共有を行いたい職種、またはMCSを利用して情報共有を行うことが効果的だと思う職種



事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)



⑮理由

- ・もう少し便利なツールが欲しい。
- ・一人の患者(利用者)に対して、多職種の方の考え方やアドバイスが頂けるのは大変助かります。
- ・多職種連携の役割を果たしていると思うからです。
- ・有用とは思いますが、必要→必須となると、負担が大きいと思います。
- ・常に患者さんの状態が把握できる。特に診察時の状況が分かることが良い。
- ・在宅医療において各施設の営業時間を問わず情報共有できるから。
- ・多職種との連携にあたって利用しやすいから。
- ・とても便利なので必要。
- ・皆が同じ方向を向いて接することが出来る。
- ・連絡が取りやすい。情報をリアルタイムで知ることができる。
- ・情報の共有は大事である。
- ・多職種間の情報が早く得られる。
- ・MCSなしでは、訪看はできないくらい役立っています。ターミナル、24H体制にも必須。
- ・BCP等にも活用していければと考えています。
- ・電話はタイミングなどで躊躇するため報告しやすい。電話する程ではない事でも、知らせておきたい内容等報告しやすい。
- ・多職種がしっかり連携できると、利用者様にも良い関わりができる。多職種とご家族とのやりとりもできる為、ご家族も安心される。
- ・情報共有、医師への報告するツールとして便利。
- ・他職種の得た情報を多職種で共有することができるので。
- ・坦会をしなくても、情報共有がタイムリーにできるため。
- ・患者さんの情報共有が可能なので必要。

事業所: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率: 38% (147/386)

⑮理由

- ・情報提供ができるから。
- ・在宅サービス者全員が利用できる事がBest。
- ・各事業所やDrと早く情報共有し、意見交換できる。
- ・本人に関わる事業所が多い時など特に便利。
- ・どちらともいえない。
- ・ないよりは良い。
- ・家族も参加できるため、遠くに住む家族も一緒に情報共有ができる。
- ・細かい日々の情報や、ささいなことでも把握できる。
- ・状況把握しやすい。
- ・どちらでもない。利用者の皆さんが必要というわけではなく、特定の方に対して必要になってくると思う。その時に、MCSを利用したらよいのではと思う。
- ・連携強化は、利用者、その家族の生活を支える要だと思うから。
- ・遠方のご家族ともMCSを通じて共有できるかなと思います。
- ・利用者の意向や状態について、タイムリーに多職種間で連携することができ、利用者が安心して生活できるチーム作りや支援の方向性を定めることができるから。
- ・地域の支える人、近隣の方等がMCSに入るとは、個人情報の管理、守秘義務等の課題があると思う。
- ・担当利用者全員がMCSを利用するとなると、正直、見るのも記入するのも負担が大きくなると思う。ターミナルの方や、医療との連携が常に必要な方は、情報共有できて良いと思う。
- ・異常早期発見につながっている(医療的問題)。
- ・情報伝達がスムーズに行える分、利用者への対応もスムーズに行えるようになる。特に、介護保険の医療系サービス導入時には、必ず医師の所見が必要となるため、スムーズに情報提供頂けるので助かっている。
- ・情報共有ツールとして有効であるため。
- ・電話等では業務の負担になってしまうが、MCSを利用する事で手間が省け、画像を添付できるので分かりやすい。
- ・独居の方における支援について、情報が共有できており、薬局の方と服薬管理の面で連携できている。
- ・一人の方に関わる職種が多い程、見方が色々あり、より良い支援につながると思う。
- ・当施設は、嘱託医が主治医である利用者が多くいらっしゃる、ドクターへの連絡のしやすさがあります。それ以外の方にはMCSを使うことで、情報共有が可能となります。

⑯その他

- ・訪問でみている患者さんのMCSのグループがあるのかがわからない事があります。
- ・今後ともよろしくお願いいたします。当院はDr複数体制で往診にも積極的に伺っています。もっとご利用頂けると、患者さんの誤嚥性肺炎予防、QDLの向上にお役に立てると思います。在宅看取りの患者さんに対応いたします。ご遠慮なくおしゃってください。
- ・グループに入れていただいたのですが、患者個別についての使用方法について分からないので知りたいです。
- ・文書で提供が必要なものは二度手間になるので、各施設がどう対応しているか知りたいです。

事業所:医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域包括支援センター・地域医療連携室
訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・介護サービス事業所

事業所回答率:38%(147/386)

⑩その他

- ・コメントを予約設定できるシステムがあると便利かなと思います。
- ・支援者の数が多ければ多いほど有効と考える。
- ・送信の時間指定(送信予約)ができると助かります。※夜間の緊急訪問を朝一に送信できるように等。
- ・アンケートもMCSにしてほしい。
- ・個人情報の扱いが不安に思う。
- ・職場のパソコンでMCSに参加しているため、休みの時は遅れて知ることになる。医療職とは連携できているが、ヘルパーさんとは共有できていない(事業所都合により)が本人の身近にいるため情報共有が効果的だと考える。
- ・福祉用具事業所がほとんど参加(招待)されていない。
- ・地域のネットワークツールとしても活用できたらと思います。
- ・個人情報を扱うため、MCSにログインできれば誰でも見る事が出来るので、IDやパスワードの管理に気を付けています。